

利休忌にちなみ

- お茶湯
- 初炭
- 回り花
- 濃茶
- 茶力フキ
- 後炭
- 薄茶



利休忌にちなみ



お茶湯



濃茶



掛物 力圓希



花入 萩



花入 竹二重切り



香合 黄瀬戸木魚



釜 松風

〔掛物〕 利休像 即中齋宗匠筆「力圓希」 応祥絵

〔花入〕 萩 伝来写し 新兵衛作

〃 竹二重切り

花 「菜の花」「回り花」

〔香合〕 黄瀬戸木魚 春鼎作

〔釜〕 松弧軒宗匠「松風」 阿弥陀堂 埴志作

炉縁 真塗 即中齋宗匠判 利斎作

〔棚〕 利休型 四方棚

〔水指〕 古曾部安南唐人絵たんぴょう

〔茶入〕 利休丸壺写 膳所焼

仕服 緑地間道

〔茶碗〕 黒 了入作

替 袈裟の絵 薩摩焼 陶正山作

〃 大仏茶碗 赤膚焼

〔茶杓〕 「和敬」 上田義山老師

〔薄茶器〕 元白写一閑 黒棗 即中齋宗匠判箱 一閑作

建水 エフゴ

蓋置 墨台 徳泉作

〔菓子器〕 一閑縁高

〔干菓子器〕 真塗四方棚盆

菓子 「桜餅」「初桜」「草入小笠餅」「おぼろ饅頭」とらや製

干菓子 「さまぎま桜」「かいちん」

濃茶 猶有齋宗匠好「楽寿の昔」 柳桜園

猶有齋宗匠好「慶雲」 緑芳園

猶有齋宗匠好「松韻の昔」 一保堂

薄茶 猶有齋好「清友の白」 柳桜園



薄茶器 黒棗



薄茶器 墨台



〔お茶湯〕 仏に供え、人に施し、我も飲む

利休様へ・東日本大震災、能登半島地震
物故者所霊へお茶湯

亭主自ら供えることもある

〔回り花〕 竹二重切を使って

〔茶力フキ〕



茶力フキ

